2026年11月10日

各　　位

会 社 名　　イ ノ テ ッ ク 株 式 会 社
代 表 者 名　代表取締役 社長執行役員　大塚　信行
（コード：9880　東証プライム）
問 合 せ 先　　経 営 企 画 部 長　　三 上　孝 明
（ＴＥＬ：０４５－４７４－９０００）

# 業績予想および配当予想の修正（増配、記念配当）に関するお知らせ

当社は、本日開催の取締役会において、最近の業績の動向などを踏まえ、2026年８月10日に公表した2027年３月期（2026年４月１日～2027年３月31日）の業績予想、および2026年５月14日に公表した配当予想について、下記のとおり修正いたしましたので、お知らせいたします。

記

１．業績予想の修正

（1）当期の連結業績予想数値の修正（2026年４月１日～2027年３月31日）　　単位：百万円

| | 売上高 | 営業利益 | 経常利益 | 親会社株主に帰属する当期純利益 | １株当たり当期純利益 |
|---|---|---|---|---|---|
| 前回発表予想（Ａ） | 51,000 | 4,000 | 4,000 | 5,000 | 415.46 |
| 今回修正予想（Ｂ） | 54,000 | 5,000 | 4,900 | 5,700 | 493.72 |
| 増減額（Ｂ－Ａ） | 3,000 | 1,000 | 900 | 700 | － |
| 増減率（％） | 5.9% | 25.0% | 22.5% | 14.0% | － |
| （参考）前期連結実績（2026年３月期） | 46,737 | 3,108 | 2,912 | 4,111 | 320.19 |

（２）修正の理由

第２四半期連結累計期間の業績は、テストソリューション事業において、メモリーテスターや後工程用検査ボードの販売が好調に推移したほか、システム・サービス事業では、自動車や自販機関連が厳しい環境であったものの、半導体や社会インフラ、防衛向けなどの旺盛な需要を取り込み、自社製CPUボードやBOX型コンピューターの販売が大幅に増加しました。また、半導体設計関連事業も概ね堅調に推移しました。第３四半期以降もこれ

らの傾向が継続するものと見込まれることから、通期の売上高、営業利益、経常利益及び親会社株主に帰属する当期純利益はいずれも前回予想を上回る見通しとなりましたので、業績予想を修正するものであります。

２．配当予想の修正

（１）配当予想修正の内容

| | 1株当たりの年間配当金 | | |
|---|---|---|---|
| | 第2四半期末 | 期末 | 合計 |
| 前回予想 | 円 銭 | 円 銭<br>40.00 | 円 銭<br>130.00 |
| 今回修正予想 | | 80.00<br>（普通配当 50.00）<br>（記念配当 30.00） | 170.00 |
| 当期実績 | 90.00<br>（普通配当 40.00）<br>（特別配当 50.00） | | |
| 前期実績<br>（2026年３月期） | 35.00 | 90.00 | 125.00 |

（２）修正の理由

当社の配当政策は、業績への連動と安定的な株主還元を基本方針としております。2027 年 3 月期の期末配当金については、業績が好調に推移していることを踏まえ、前回予想の 1 株当たり 40.00 円から 10.00 円増配し、普通配当を 50.00 円に修正することといたします。また、創立 40 周年を記念し、1 株当たり 30.00 円の記念配当を実施いたします。この結果、当期の 1 株当たり年間配当金は、実施済みの中間配当金 90 円と合わせて 170 円となり、前期から 45 円の増配となる予定です。

以上